

ごあいさつ

ここに2003年版「町田市統計書」を刊行いたします。

本書は、人口・産業・経済・文化・教育・福祉等各分野の基本的な資料を2001・2002年度を主に収録し、市の現状と推移発展を紹介するものです。

いま社会は、高齢化や国際化への対応、市政においては中核都市としての基盤整備や諸行政の充実へと、大きく飛躍しつつあります。過去の軌跡を分析し、現状を正しく判断するために、統計の持つ役割はますます重要になっています。本書が地域発展のための基礎資料として広くご利用いただければ幸いです。

編集に当たりましては、可能な限り最新の資料と内容の充実に努めましたが、不備な点につきましては、更に改善に努めてまいりたいと考えております。

本書の刊行にあたり、貴重な資料を提供していただいた関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

2004年3月

東京都 町田市長

寺田 和雄

本書をご利用のみなさまへ

編集にさいして

この統計書は各関係機関が所有している資料、既に刊行されている各種統計報告書、本市各部課から町田市についての統計資料を収録しました。

資料における「時」のおさえ方

過去との対比を考慮して過去数年の数字を記載しています。とくに断り書きのないかぎりは記載のしかたは次のとおりです。

- 年次・・・暦年（1月1日から12月31日まで）
- 年度・・・会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）
- 年月日・・・記載した期日を現在日として

統計表のみかた

統計表の注・・・統計表のなかで説明を必要とする事項については「注」として表しました。

- | | | | |
|-------|-----|---------|---------------------|
| 表体の符号 | ・・・ | ○ | 「単位未満のもの」 |
| | | — | 「皆無、または該当する数字がないもの」 |
| | | … | 「資料なし（不詳）のもの」 |
| | | X | 「統計法による秘匿数字」 |
| | | 斜体字又は r | 「訂正数字」 |
| | | △ | 「減少」 |

数字のまとめ方・・・少数点以下の数字については四捨五入を原則としました。したがって総数（合計数字）が内訳の計と一致しない場合があります。

照会先

この統計書に関する問い合わせは下記へご連絡ください。

町田市役所（代表） ☎ 042-722-3111 （内線2217）

町田市総務部総務課統計係（直通） ☎ 042-724-2106

町田市ホームページアドレスのご案内

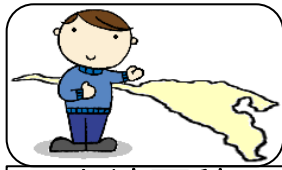
<http://www.city.machida.tokyo.jp>

町田市の数字

項 目	数 値	期 日	項 目	数 値	期 日
面積	71.62 km ²	03.1.1	道路総延長	1,256,073 m	03.4.1
人口（住民基本台帳）	389,921 人	//	道路面積	7,433,210 m ²	//
世帯（住民基本台帳）	155,870 世帯	//	橋梁数	192 橋	//
人口密度（1km ² あたり）	5,444 人	//	街路灯数	24,385 基	//
転入人口	25,084 人	02.1.1	水道配水量	47,134 千m ³	03年度
転出人口	18,250 人	//	ごみ収集量	142,617 トン	//
出生数	3,225 人	//	下水処理量	37,561 千m ³	//
死亡数	2,248 人	//	公園数	524 園	03.4.1
外国人登録者数	3,745 人	03.1.1	公園面積	18,067 m ²	//
国勢調査人口	377,494 人	00.10.1	犯罪発生件数	9,120 件	02年
婚姻数	2,271 件	01年	交通事故発生件数	3,142 件	//
離婚数	783 件	01年	火災発生件数	156 件	//
事業所数	11,921 事業所	01.10.1	救急車出動件数	15,968 件	//
従業者数	123,633 人	//	建築確認申請件数	2,286 件	02年度
経営耕地面積	382 ha	00.2.1	公共賃貸住宅件数	27,132 戸	//
農業従業者数	5,077 人	//	市民相談件数	22,022 件	//
商店数（卸・小売業）	2,952 店舗	02.6.1	自動車登録台数	135,235 台	01年度末
商業従業者数（卸・小売業）	28,337 人	//	病院・診療所数	500 医院	02年度
工場数	246 工場	01.12.31	郵便局数	34 局	//
工場従業者数	5,945 人	//	金融機関数	36 行	//
保育園数	41 園	02.5.1	求職者数	84,721 人	//
保育園児数	4,107 人	//	選挙人名簿登録者数	321,441 人	02.9.2
幼稚園数	40 園	03.5.1	被生活保護者数	3,949 人	02年度
幼稚園児数	8,364 人	//	国民健康保険加入者数	136,292 人	02年度末
公立小学校数	39 校	//	国民年金加入者数	115,319 人	//
公立小学校児童数	20,212 人	//	民生委員数	227 人	//
公立中学校数	20 校	//	当初予算（一般会計）	108,294,390 千円	02年度
公立中学校生徒数	8,534 人	//	当初予算（特別会計）	83,379,880 千円	//
公立高等学校数	7 校	//	当初予算（公営企業会計）	12,659,686 千円	//
公立高等学校生徒数	5,754 人	//	一般会計決算額（歳入）	115,932,723 千円	//
図書館蔵書数	916,364 冊	02年度末	一般会計決算額（歳出）	114,336,154 千円	//
図書館貸出数	4,028,084 冊	02年度			

統計から見た町田市

(特に記載がない限り2001年度の数値を使用しています。)



土地面積
(市全域)

1人当たり
191 m²



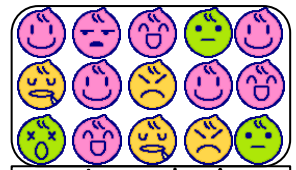
公園面積
(市立)

1人当たり
4.8 m²



世帯

1世帯当たり
2.5 人



人口密度

1km²当たり
5,249 人



婚姻

1日に
6.2 組



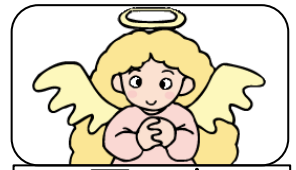
離婚

1日に
2.1 組



出生

1日に
8.7 人



死亡

1日に
6.0 人



転入

1日に
65.4 人



転出

1日に
50.5 人



ゴミ
(処理量)

1日に
387.5 トン



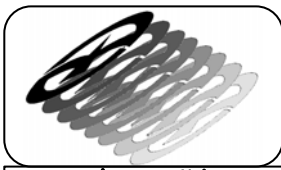
し尿
(処理量)

1日に
128.7 kL



納税義務者所得
(2002年度)

1人平均
446 万円



市税

1人当たり
175 千円



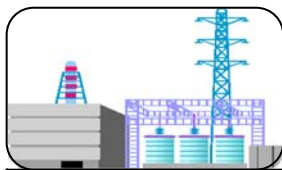
市予算
(一般会計当初)

1人当たり
292 千円



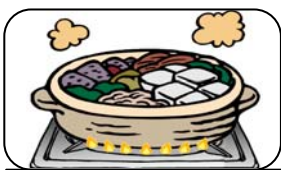
市職員

市民 125 人に
市職員 1 人



使用電力量

1日に
3,755 MWh



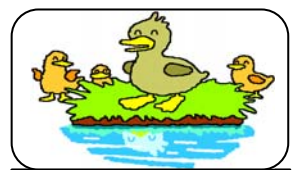
都市ガス消費量

1日に
176 km³



水道配水量

1日に
130 km³



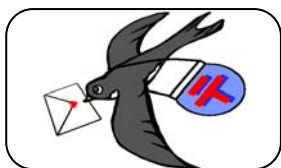
下水処理量

1日に
98.3 km³



銀行預金

1世帯当たり
1,234 万円



郵便

(引受・配達数)
一日に
74,004 千通



病院・診療所

市民 464 人に
1 院



病床

市民 100 人に
1 床



教員

(公立・2003年)
小学生 19 人に 1 人
中学生 13 人に 1 人



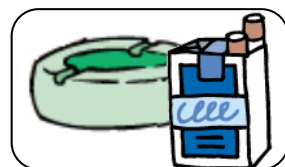
図書館

(貸出冊数)
一日に
10,828 冊



酒

(消費量)
一日に 1 人当たり
161 ml



たばこ

(消費量)
一日に 1 人当たり
5.2 本



刑法犯罪

一日に
24 件



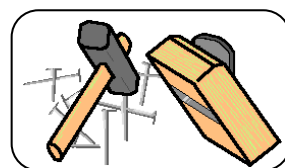
交通事故

一日に
8.4 件



警察官

市民 766 人に
1 人



着工住宅数

1 日当たり
17 軒



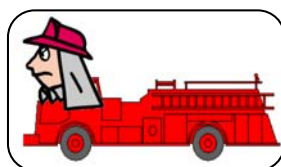
救急車出動

一日に
41.7 件



火災

一日に
0.45 件



消防車両

5,460 世帯に
1 台



消防職員

(2004年)
市民 1,190 人に
1 人



乗用車

1.3 世帯に
1 台



J R

(乗車人員)
一日に
127,173 人



私鉄

(乗車人員)
一日に
217,537 人



バス

(輸送人員)
一日に
101,967 人

町田市の人口年表

年号	西暦	記 事
享保 6	A.D 1721	徳川吉宗人口調査。全国人口「 26,065,425人 」 これ以降1846年まで16回実施。
	1805	関東取締出役設置。「寄場名主」を筆頭に組合村形成。 このころより盛んに、村概況・戸数人口・道・橋・秣場・助郷等詳細に調査し、 各村の明細帳として作成。
慶応 4	A.D 1868	市域武蔵知県事、葦山県管轄となる。「江戸」が「東京」となり、旧東京府設置。
明治 元	A.D 1868	この頃までに上凶師・下凶師が上下凶師村持添統合し、 上下凶師村となる。のち凶師村と称す。
2	1869	この頃、小川・高ヶ坂・鶴間・金森・成瀬は「神奈川県」に。 他は品川県に所属。東京奠都。 この頃、市域の人口「 約14,000人 」
3	1870	戸籍編成規則回達。「平民族戸籍」編成。
4	1871	戸籍編成に際し五人組復活、伍長を置く。戸籍法制定（壬申戸籍） 戸籍区制実施につき市域は第30・31・35区に含まれる。 廃藩置県・東京府設置。寺請制から氏子守礼制移行。 この頃、原町田・本町田・森野・南大谷が品川県より神奈川県に編入される。
5	1872	土地永代売買の禁を解き、所有者に地券（壬申地券）下付。 明治6年にかけて「物産調査」施行。 太陽暦採用。市域の組合村解体。庄屋などを廃し、戸長などと改称す。 （壬申）戸籍編成のための「 全国戸口調査 」実施。
9	1876	原町田の大火（ローソク屋出火）。氏子守礼制での人口調査廃止。 この頃、人口「 14,000人 」
11	1878	三新法（群区町村編成法・府県会規則・地方税規則）公布。 神奈川県多摩群を西・北・南に分裂。 翌年までに大谷村が南大谷村となる。 原町田・本町田・森野・南大谷が南多摩郡に入る。
21	1888	市制・町村制公布。
22	1889	市域24村から鶴川・南・忠生・町田・堺の五村に合併する。大日本帝国憲法発布。 東京都市制施行。
26	1893	4月1日三多摩東京府へ移管につき、市域も東京府となる。
28	1895	下関条約。12月31日現在の人口「 18,637人 」「 3,329戸 」
32	1899	南多摩郡、郡制施行。耕地整理法分布。
33	1900	人口「 20,184人 」「 3,328戸 」
37	1904	横浜鉄道本社、東神奈川に創立。
42	1908	横浜鉄道（八浜線）開通に伴い原町田駅開設。 忠生村役場新設（凶師1448番地、現在の凶師大橋付近）
大正 2	A.D 1913	町田村が町田町となる。
	1915	町田町役場新築（原町田1241番地4・現在の町田センタービル付近）
	1917	横浜鉄道国有化。この頃、日本の生糸生産額が世界の6割に達する。
	1920	戦後恐慌。 第1回国勢調査実施（町田分人口23,620人）
	1921	郡制廃止法公布。同年原町田駅前タクシーが開業される。
	1923	関東大震災。市域の死者28人、被害も甚大。南多摩郡廃止。
昭和 2	A.D 1927	小田急線（新宿～小田原）開通。新原町田駅・鶴川駅設置。
4	1929	世界経済恐慌（日本は1年遅れ）帝都昼間人口調査。
5	1930	町田乗合バス会社設立。
8	1933	9月8日町田町大火災（115戸焼失）

年号	西暦	記	事
昭和 15	A.D 1940	第5回国勢調査（市域人口32,020人）	
16	1941	太平洋戦争勃発。	
17	1942	食糧管理法制定。	
18	1943	東京都制実施。	
19	1944	資源調査法による人口調査。	
20	1945	市域各地に爆弾投下。太平洋戦争終結。市域全体の戦死者1,135人。 資源調査法による人口調査。 第6回国勢調査（市域人口50,528人）	
21	1946	日本国憲法公布。	
22	1947	統計法公布。東京都昼間人口調査。	
23	1948	常住人口調査。	
27	1952	住民登録法施行（7月1日） 金森に都営引場者住宅建設。以後都営住宅建設続く。	
29	1954	町田町・南村合併。	
32	1957	首都圏整備法施行	
33	1958	首都圏整備法指定第1号。2月1日町田市制施行。 世帯「12,970世帯」人口「61,105人」（男性30,619人/女性30,486人）	
36	1961	高ヶ坂団地入居開始。東京都の常住人口1千万人突破。	
38	1963	森野・木曽団地入居開始。	
39	1964	世帯「26,808世帯」人口「100,928人」（昭和39.5.1） オリンピック東京大会（第18回）開催。	
40	1965	本町田団地入居開始。	
42	1967	鶴川団地入居開始。住民基本台帳法施行（昭和42.11.10）	
43	1968	境川団地・山崎団地入居開始。東急田園都市線つくし野駅開業。	
45	1970	藤の台団地入居開始。 世帯「61,609世帯」人口「200,459人」（昭和45.10.1住民基本台帳人口） 市役所新庁舎オープン。新都市計画法による三多摩の市街化調整。団地白書発表。 第11回国勢調査実施。	
47	1972	沖縄返還。集中豪雨で境川氾濫、各地に被害。	
50	1975	市営水道事業、都へ移管。 第12回国勢調査。世帯「73,371世帯」人口「255,305人」	
51	1976	桜美林高等学校が、第58回全国高校野球選手権大会（甲子園）で優勝。	
55	1980	第13回国勢調査。世帯「89,547世帯」人口「295,405人」	
60	1985	第14回国勢調査。世帯「100,826世帯」人口「321,188人」	
63	1988	高齢者人口7.09%になる。	
平成 2	A.D 1990	第15回国勢調査。世帯「119,009世帯」人口「349,050人」	
3	1991	京王相模原線多摩境駅開業。	
7	1995	1月17日阪神淡路大震災。死者6,300人以上、被災者30万人を超える大災害。 第16回国勢調査。世帯「130,739世帯」人口「360,525人」	
12	2000	第17回国勢調査。世帯「145,764世帯」人口「377,494人」	
13	2001	日本大学第三高等学校（日大三高）が第83回全国高校野球選手権大会（甲子園）で優勝。	
14	2002	市の鳥「カワセミ」を制定。（6月15日） 白洲次郎・正子旧宅を町田市指定史跡に指定。（11月8日）	
15	2003	人口40万人(外国人登録人口を含む)を達成（9月8日）	

※「東京都人口年表」及び「町田市歴史年表」「町田の歴史をさぐる」等ご参照ください。

町 田 市

市 章



昭和33年10月1日の制定。

マチダのマの二字をもって“田の字型”に図案化して、市民の和合団結と中央の鳥形は、平和と発展を表象する。

市の木 けやき

市の花 サルビア

市の鳥 かわせみ

市民の木 いちょう・とちの木・はなみずき

市民の鳥 シジュウカラ・メジロ・コゲラ・ウグイス

市民の花 つつじ・ゆい・すみれ・さくら・のぎく・コスモス

町田市民憲章

昭和43年5月11日制定

- 1 わたくしたちは 市民としての自覚と誇りをもち進んでその責任をはたしましょう
- 1 わたくしたちは 互いに自由を尊重し協力して明るいまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 教養をふかめ情操をやしない風格あるまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 老人を敬い 明日を担うすこやかな青少年を育てましょう
- 1 わたくしたちは 心と体を鍛え仕事にはげんで豊かなくらしを築きましょう